

ロシア為替週報

2021年11月1日 | みずほ銀行欧州資金部

MIZUHO

<過去1週間の動き>

(10月23日～10月29日)

USD/RUB: 69.233～70.990

過去1週間のロシア・ルーブル相場は、続騰の先行から、反落。振り返って、22日のロシア中銀大幅利上げ発表前の水準を割り込むまで水準を切り下げた(対ドル)。ルーブル上昇の先行は、引き続き、ロシア中銀による、22日の、市場予想(+25b.p.)を大幅に上回る+75b.p.利上げの影響と考えられた。26日までにルーブルは、対ドルで70を上抜け、昨年6月来16ヵ月ぶりの高値となる69.233まで上昇した。その後のルーブル反落には、原油価格急落の影響が大きかったものと考えられた。85ドル/バレル超の水準で高止まりしていた原油(ブレント)は、27日以降急落、28日までに、82ドル/バレル割れ水準まで一気に4.3%前後(26日終値→28日安値)水準を切り下げた。原油安の要因については、中国株の急落や、イランの核協議復帰観測、米在庫増などの材料が挙げられたが、いずれも材料としては中途半端で、85ドル/バレル台の上値の重さを確認した「買い疲れ」からの調整安という解釈が、最もしっくりくるように思われた。まあ、前後して、ルーブル建ロシア国債(OFZ)の軟調推移が続いたことも、ルーブルの重石になった可能性は考えられたものの、OFZ下落(利回りは上昇)に弾みをつけたのは22日のロシア中銀大幅利上げで、当初、OFZ急落を他所に続騰していたルーブルが、27日になって突然下落に転じた理由に、OFZ安を上げるのも、些かこじつけがましい印象を受けた。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
10/27	16:00	鉱工業生産(前年比)	9月	+6.8%	+4.6%	+4.6%r
10/29	16:00	失業率	9月	4.3%	4.4%	4.4%
	16:00	小売売上高(前年比)	9月	+5.6%	+5.8%	+5.3%
	16:00	実質賃金(前年比)	9月	+1.5%	+2.7%	+2.2%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(10月30日～11月5日)

USD/RUB: 70.75～71.55

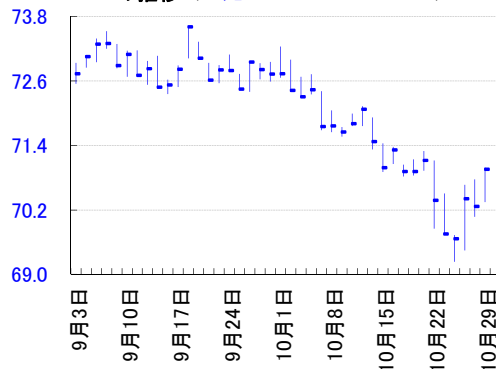
向こう1週間のロシア・ルーブル相場は、方向感を欠いた、軟調気味の横ばいを予想。軟調を中心に予想するのは、対ドルで70を超えるルーブル高が一巡したところで、再び70抜けを狙うようなルーブル上昇を裏付ける要因を思いつかないから。横ばいを見込むのは、モスクワで28日以降導入された非労働日、30日以降、11月7日の連休最終日まで、ロシア全土に適用されるから。新型コロナの感染拡大抑制を目的に、「日常生活に必要不可欠な業種」以外を休業とすると言うが、食料品や薬品などの販売の他、資金決済機能を担う金融機関も、通常通り営業する模様。非金融法人の財務部門や、機関投資家などが、どの程度「非労働」になるのか定かでないものの、資金為替取引もある程度は抑制されるのではなかろうか。もっとも、株式などは通常通り取引される模様で(もともと休日だった4日、5日は休業)、国外の投資家や、ロシアでも在宅勤務をしてきた投資家の存在に鑑みれば、投資市場の活動は、普段とそんなに変わらないのかもしれない。ロシア中銀は、非労働日導入を「物価押し上げ要因」と分析した模様で、どうということかと思ったが、給与所得者が政府の命令によって「非労働」した場合(労働しなかった場合)、給与は保障される(一般消費者の購買力には少なくとも建前上影響はない)一方、製造業者などの操業停止による供給面での制約が、需給のバランスを崩す(供給不足に陥る)ことが、価格押し上げにつながるということのようであった。物価上昇=追加(大幅)利上げという連想が働けば、或いはルーブル押し上げに寄与する可能性も考えられなくはないものの、上述の通り、27日以降のルーブル反落に、少なからずOFZ続落(利回り上昇)が影響した経緯は、必ずしもルーブル押し上げを示唆しない。敢えて深読みするなら、コロナ対策で経済活動制限=景気下押し要因という解釈が、むしろルーブル押し下げ要因と受け止められる可能性の方が高いのではなかろうか。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

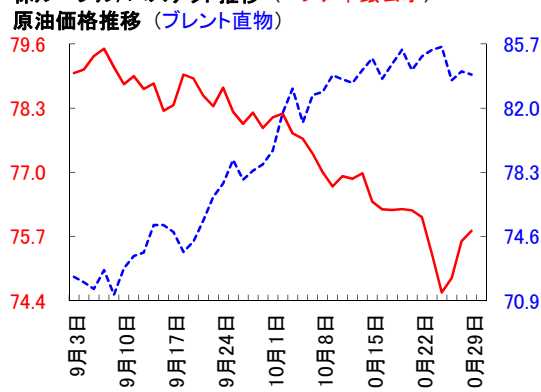
月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
11/3	16:00	CPI(前年比)	10月		+8.00%	+7.42%r
11/3-11/10		国民福祉基金(USD)	10月			191.0bn

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

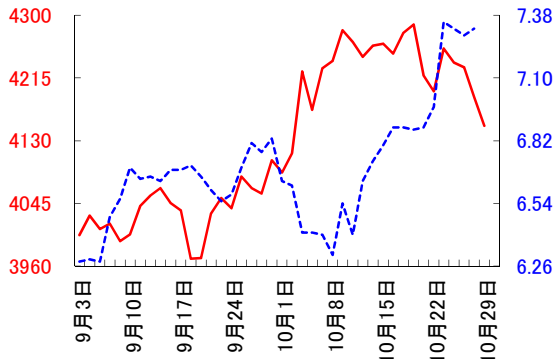
USD/RUBの推移(日足/ロンドン 7:00～17:00)



株ルーブル/バスケット推移(ロシア中銀公示)



株式/金利相場の推移(MOEX指数/当翌物金利)



(資料: ロシア中銀/ロイター/ブルームバーグ)

ロシア関係主要経済指標

1週間物入札金利		7.50%
成長率(GDP/前年比)	Q2	+10.5%
失業率	9月	4.3%
消費者物価(前年比)	9月	+7.4%
小売売上高(前年比)	9月	+5.6%
鉱工業生産(前年比)	9月	+6.8%
貿易収支(USD)	8月	+17.1bn

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。